



2018年10月12日

鹿島区地域協議会様

日本共産党鹿島支部長

郡俊彦



要望書

鹿島区のために鋭意ご努力されておりますことに感謝申し上げます。

さて、この程、南相馬市からの情報公開で得た資料によりますと、平成27年度に見直された「新市建設計画」の中で、鹿島区関係ではタラソパーク健康保養公園（牛島開発整備事業）やふるさとの森整備事業等が事業実施時期未定の繰り延べとなっており、財源が棚上げになってしまう心配があります。

「新市建設計画」は、平成18年の合併の際に「合併協定」の大きな内容として議会の議決を得ている重要な約束です。

内容はいうまでもありませんが、合併特例債を主な財源として、当初計画では、10年間で55.0億円、この半分を全市の重点事業に、半分を原町6、小高2、鹿島2での地域ごとに分けて使う計画になっていました。

大震災や原発事故に伴う避難などがありました。計画は今も生きています。市としては見直しに伴って新たな事業の検討もされており、鹿島区としても再確認の上、これらの財源を生かした計画を提案していくべきと考えます。

今、南相馬市民一体化のための鹿島区事業も検討中で、鹿島区ビジョンも随時見直されておられることと存じますが、この際、10年後の鹿島区の姿を見据えての総合的な計画の検討が必要ではないでしょうか。

改めて公的な立場で全区民アンケートを取られるなど、鹿島区をあげての取り組みが望まれると思います。

よろしくご検討をお願いいたします。

以上